

2024/5/13（月）

朝の礼拝

聖書 コリントの信徒への手紙一 12章 26-27節（新約聖書 310頁）

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。あなたがたはキリストの体であり、一人一人はその部分です。

体験する学び

中学二年生のイングリッシュ・キャンプに始まり、明日、高校二年生がオーストラリアから帰国すると、各学年のスタディ・ツアーが終わります。中三の京都奈良では伝統文化に触れ、お寺の課題を探究し、和服で古都を散策し、和食も堪能して学びました。

学校を離れ、家族と離れて旅をして、慣れない道で足が痛くなり、少し遅れ、食事が進まなかったり、枕が合わなかったり、なくし物もしました。一緒に笑い、喜ぶだけでなく、旅をするだけで気を遣い苦労もします。それも体験を共にする学びです。

冒頭にあったように、イエスがキリスト、救い主であると信じるようになったのは言葉や文字で説得し納得したからではありません。独り暮らしのお年寄り、身体の不自由な人、病にある人と苦楽を共にし、互いに励まし、祈り合う生活から生まれました。

短い研修旅行でしたが、友だちがお土産をなくした時に自分のことのように探した英和生たち、毎食用意された食事を残さず食べてくれた先生方、ご住職のお話を一生懸命ノートに取り、檀家さんや地域のことにも悩んだ英和生たちから、私も学びました。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたはいつも、どこでも私たちと共におられ、
私たちが互いに愛し合う尊さと喜びを教えてくださいます。どうか
私たちの旅の過ちを赦し、足りないところを補い、わたしたち
の成長の糧にしてください。また、いま帰路にある高校二年生の
旅路も最後までお守りください。今日一日もすべてをあなたに委
ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリスト
によってお願いいたします。アーメン